

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く
都道府県別訪日外客数と訪問率
月次指標の早期推計：12月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●1月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、12月の訪日外客総数(推計値)は**348万9,800人**となった。クリスマスや年末年始に合わせた旅行需要の高まりも影響し、**過去最高値を更新**(前年同月比+27.6%)。また、**出国日本人数は118万7,200人**と、**6カ月連続で100万人超の水準**となった(同+25.2%)。ただし、**2019年同月比では-30.7%**となり、**減少幅は前月(同-28.4%)から拡大**した。

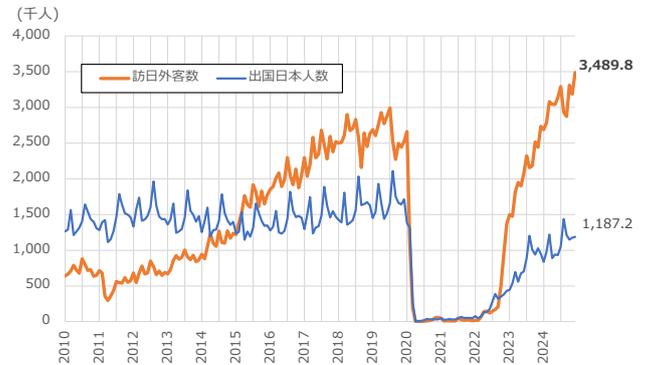
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、**12月は韓国が86万7,400人**(前年同月比+10.8%)で**最多**となり、**過去最高値を更新**した。次いで中国が60万4,200人(同+93.4%)、台湾が49万1,200人(同+23.0%)、香港が28万5,600人(同+13.7%)、米国が23万8,500人(同+30.2%)と続く。

▶**2024年通年の訪日外客数は3,686万9,885人**となり、過去最高値であった**19年の水準(3,118万2,049人)を5年ぶりに上回った**(前年:2,506万6,067人)。一方、**日本人出国者数は1,300万7,238人**と、前年(962万4,464人)から増加したものの、**コロナ禍前の6割程度(-35.2%)の回復にとどまった**。円安の影響(平均為替レート:19年:109.01円→24年:151.48円)もあり、**インバウンド需要に比してアウトバウンド需要の回復は依然遅れている**。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、10月は331万2,193人**であった(前年同月比+31.6%)。うち、**観光客は302万1,710人**となり、**3カ月ぶりに300万人を超えた**(同+34.5%)。また、**商用客は12万1,490人**(同+1.8%)、**その他客は16万8,993人**(同+11.6%)であった。

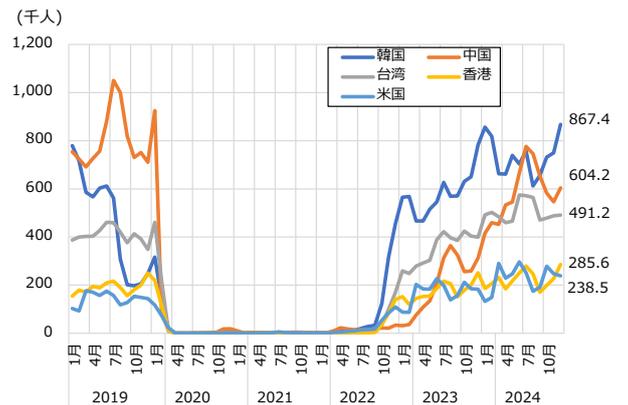
▶訪日外客が着実に増加している一方で、観光地においてオーバーツーリズムの問題が再び深刻化しつつある。この問題に対応するため、観光庁は2月17日から「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」の公募を開始した。本事業では(1)地方公共団体または観光地域づくり法人(DMO)が申請主体となる「地域一体型」と(2)前者の申請主体に民間事業者を加えた「実証・個別型」の2つのタイプに分けられ、伴走支援が行われる予定である。今後、DMO、自治体や民間事業者が相互に連携することで、実効性の高いオーバーツーリズム対策が期待される。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注)2022年まで確定値。23年、24年1-10月は暫定値、24年11-12月は推計値

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

図3 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注)目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

●12月関西の財貨・サービス貿易及び11月のサービス産業動向

▶ 関西12月の輸出額は前年同月比+3.1%と3カ月連続で増加した(前月:同+2.4%)。また、輸入額は同+3.1%と2カ月ぶりの増加(前月:同-4.9%)。結果、**関西の貿易収支は+3,662億円と11カ月連続の黒字となり(図4)、黒字幅は同+3.2%拡大した(前月:同+117.4%)。2024年通年では、輸出は前年比+2.8%(前年:同-3.2%)、輸入は同+1.1%(前年:同-9.5%)といずれも2年ぶりのプラス。貿易収支は10年連続の黒字(+2兆4,724億円)となり、黒字幅は同+18.3%と2年連続で拡大した(前年:同+161.0%)。**

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、**関西12月の対中輸出は前年同月比-6.7%と3カ月ぶりに減少した(前月:同+0.8%)**。輸出減に寄与したのは半導体等製造装置や鉄鋼等であった。一方、**対中輸入は同+5.1%と2カ月ぶりの増加(前月:同-0.0%)**。輸入増に寄与したのは衣類及び同付属品やがん具及び遊戯用具等であった。2024年通年では、輸出は前年比+2.6%(23年:同-4.9%)、輸入は同+1.2%(前年:同-6.1%)といずれも2年ぶりに増加した。

▶ **12月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は88万5,400人となり(前月:83万8,503人)、過去最高値を更新した(図6)**。前年同月比+22.7%と2024年1月(同+84.7%)以降、2桁の伸びが続いており、**関空への訪日外客数は好調に推移している**。また、日本人出国者数は22万8,687人であった(同+29.1%)。なお、19年同月比では-33.6%と前月(同-30.3%)から減少幅は拡大しており回復ペースは緩慢である。24年通年の関空への訪日外客数は945万7,874人となり、コロナ禍前の19年の水準(837万8,039人)を+12.9%と5年ぶりに上回った。一方、日本人出国者数は224万7,088人でコロナ禍前の6割程度(同-38.4%)の回復にとどまった。

▶ **11月のサービス業の活動は一進一退の動きが続く(図7)**。サービス業の生産活動を示す**第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)**をみれば、11月は101.8で前月比-0.3%低下し、**2カ月ぶりのマイナス**となった(前月:同+0.1%)。また、**対面型サービス業指数***は97.8で同+0.0%と2か月ぶりの小幅上昇にとどまった(前月:同-0.7%)。うち、飲食店、飲食サービス業(同+1.2%、3カ月ぶり)や娯楽業(同+1.5%、2カ月ぶり)が**上昇に寄与**した。

▶ **観光関連指数****(2015年平均=100)は、94.1と前月比-0.2%低下し、2カ月ぶりのマイナス(前月:同+0.3%)。うち、**旅行業**(同-28.6%、5カ月ぶり)、**鉄道旅客運送業**(同-1.1%、3カ月ぶり)等が**低下に寄与**した。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

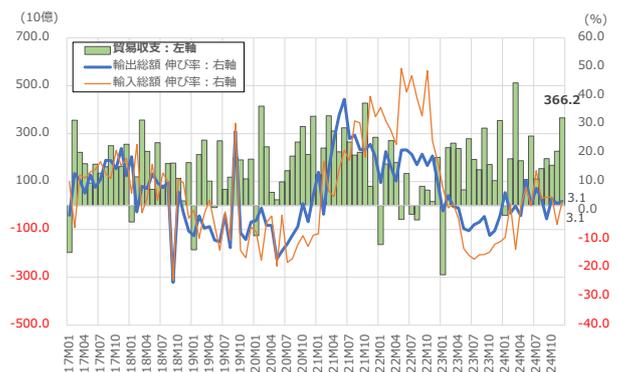
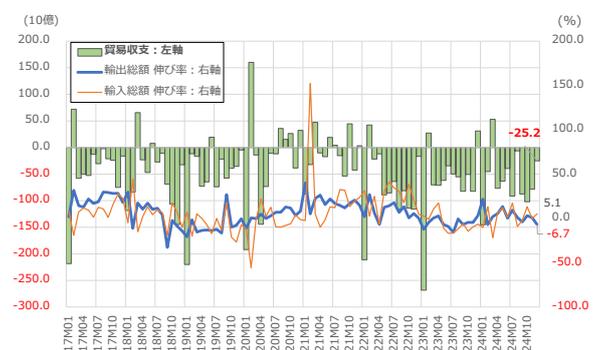
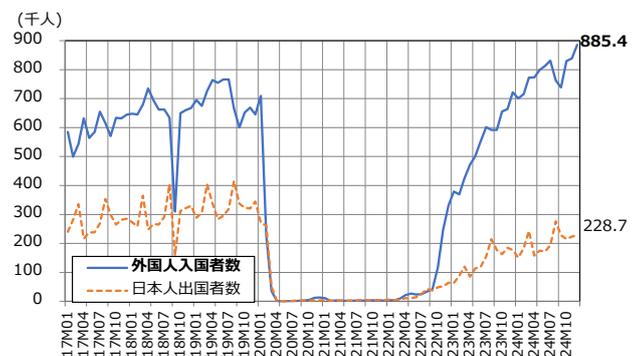


図5 関西 対中貿易の推移



出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2024年12月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 10月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、10月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は12,589.2千人泊であった(表1)。前年同月比+7.4%と36カ月連続で増加しており、増加幅は前月(同+2.3%)から拡大した。

▶日本人延べ宿泊者数は8,048.0千人泊となった(表1及び図8)。前年同月比+1.1%と3カ月ぶりに増加した(前月：同-3.3%)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,878.7千人泊、京都府1,414.8千人泊、兵庫県1,282.9千人泊、三重県688.1千人泊、滋賀県390.1千人泊、和歌山県336.8千人泊、福井県320.7千人泊、鳥取県273.0千人泊、奈良県238.6千人泊、徳島県224.4千人泊であった。前年同月比でみると、大阪府(同+3.6%、4カ月ぶり)、鳥取県(同+43.9%、10カ月連続)や兵庫県(同+5.4%、5カ月連続)等が、日本人延べ宿泊者の増加に寄与した。なお、京都府は同-18.5%と17カ月連続で減少しており、日本人宿泊者数は低迷している。

▶外国人延べ宿泊者数は4,545.1千人泊となり、過去最高値を更新した(表1及び図9)。前年同月比+20.8%と10カ月連続で2桁の伸びが続いており、好調を維持している(前月：同+16.5%)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,380.7千人泊、京都府1,760.3千人泊、兵庫県158.9千人泊、和歌山県107.7千人泊、奈良県44.3千人泊、滋賀県26.3千人泊、三重県21.5千人泊、徳島県19.5千人泊、鳥取県13.2千人泊、福井県8.9千人泊であった。なお、京都府、兵庫県や和歌山県の延べ宿泊者数が過去最高値を更新した。前年同月比をみれば、京都府が同+26.5%(31カ月連続)、大阪府が同+15.0%(33カ月連続)や和歌山県が同+107.8%(29カ月連続)等、8府県が外国人延べ宿泊者の増加に寄与した。

▶宿泊料金を巡る状況(現金給与総額/宿泊料金)を見れば、宿泊料金高騰の影響もあり、2024年は19年比-18.2ポイント低下した。円安の影響を受けない、日本人宿泊者数にとっては厳しい状況が続いている(図10)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

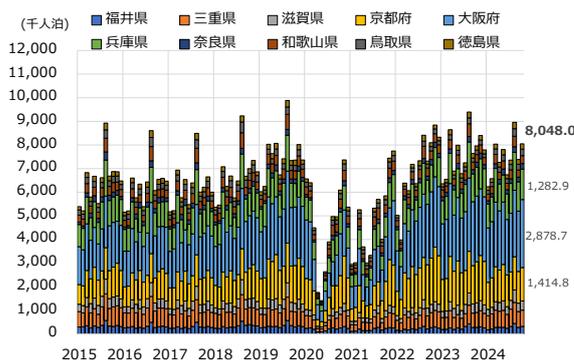


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

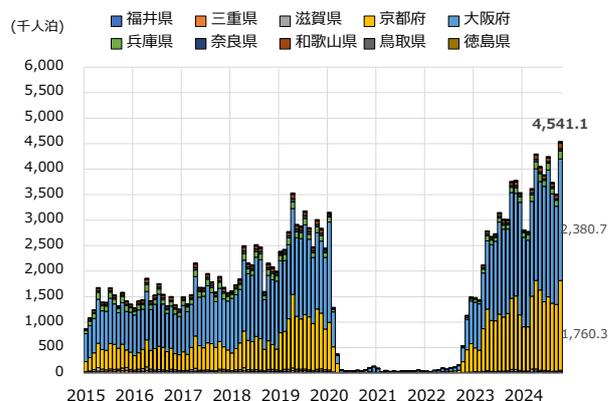
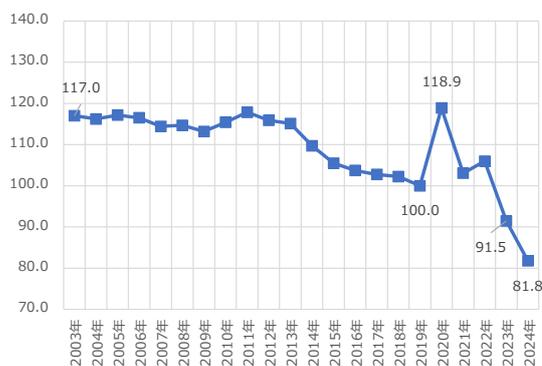


図10 宿泊料金と賃金との交易条件(現金給与総額/宿泊料金)



注) 宿泊料金(消費者物価)と賃金(現金給与総額)の相対的関係のみている。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：10月

2024年10月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数: (千人泊)	前年比伸び率: 当月(%)	前年比伸び率: 前月(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	前年比伸び率: 当月(%)	前年比伸び率: 前月(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	前年比伸び率: 当月(%)	前年比伸び率: 前月(%)
福井県	329.6	13.6	1.2	320.7	13.9	1.2	8.9	2.7	-1.8
三重県	709.5	7.0	10.5	688.1	8.6	11.2	21.5	-26.8	-12.3
滋賀県	416.3	-6.7	-10.3	390.1	-4.4	-9.7	26.3	-31.5	-19.8
京都府	3,175.1	1.5	-3.2	1,414.8	-18.5	-17.0	1,760.3	26.5	16.7
大阪府	5,259.4	8.5	2.5	2,878.7	3.6	-5.8	2,380.7	15.0	16.1
兵庫県	1,441.9	8.9	7.9	1,282.9	5.4	5.8	158.9	49.4	35.7
奈良県	282.9	12.1	4.7	238.6	10.7	5.4	44.3	20.2	0.5
和歌山県	444.5	18.8	1.6	336.8	4.5	-2.5	107.7	107.8	24.7
鳥取県	286.2	44.6	36.2	273.0	43.9	35.7	13.2	62.1	48.4
徳島県	243.8	23.4	8.2	224.4	24.6	7.7	19.5	11.6	16.4
関西2府4県	11,020.0	6.2	1.0	6,541.9	-2.0	-6.3	4,478.2	21.2	16.6
関西2府8県	12,589.2	7.4	2.3	8,048.0	1.1	-3.3	4,541.1	20.8	16.5
全国	58,439.8	4.1	2.9	42,616.7	-2.3	-1.8	15,823.1	26.6	22.7

注：表中の赤枠は寄与度が高いTOP3を示している。

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図8~10及び表1)より筆者作成

トピックス 3

● 2024年10-12月期訪日外国人消費の動向

▶観光庁によれば、2024年10-12月期の訪日外国人消費額(速報、全目的ベース)は**2兆3,108億円**となった(図11)(7-9月期:1兆9,186億円)。前年同期比+37.6%と**24年に入って、4四半期連続で2桁の伸び**となっている。結果、**24年通年の消費額は8兆1,395億円**と、過去最高値であった**23年通年(5兆3,065億円)**を上回った。

▶10-12月期の訪日外国人消費のトップ5を国・地域別(その他除く)にみれば(図12)、**中国**が4,373億円(前年同期比+90.1%)と**最多**であった。次いで、台湾が2,970億円(同+25.3%)、米国が2,683億円(同+42.2%)、韓国が2,639億円(同+26.3%)、香港が1,613億円(同+11.2%)と続く。

▶**一般客1人1泊当たり旅行支出**(全目的)は2万7,372円となり、前年同期比+5.8%増加した(7-9月期:同+18.0%)。国・地域別にみれば(表2)、香港が3万8,117円(同+7.5%)と最も高い。次いで、台湾が3万4,668円(同+7.6%)、シンガポールが3万4,488円(同-0.9%)、英国が3万3,066円(同+28.3%)、中国が3万2,222円(同+18.7%)となっている。

▶10-12月期の1人1泊当たり旅行支出を費目別でみれば(表3)、宿泊費が9,610円(同+5.3%)と最も多く、次いで買物代が7,847円(同+7.5%)、飲食費が5,702円(同+3.3%)、交通費2,938円(同+0.2%)、娯楽等サービス費が1,272円(同+30.3%)と続いている。なお、平均泊数は8.7泊と、前年同期差+0.2泊小幅増加した。

*トピックス3は四半期ごとの掲載である。

**「全目的」とは、観光・レジャー目的以外に、業務、留学、親族・知人訪問等の目的の旅行者を含む。ただし、1年未満の滞在者が対象である。

図11 訪日外国人消費額の推移

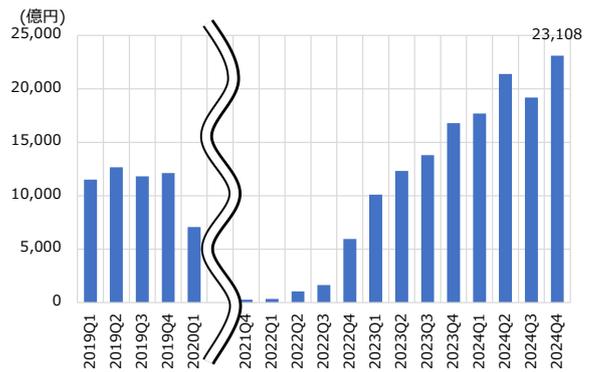
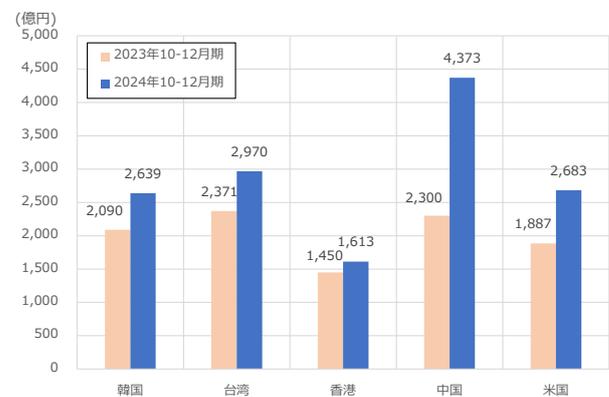


図12 訪日外国人消費額の上位5か国・地域：2024年10-12月期



(注)「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加えビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。「クルーズ客」は船舶観光上陸許可者。2023年までは確報、24年10-12月期は速報。

出所:観光庁『インバウンド消費動向調査』より作成(図11も同様)

表2 国・地域別一般客1人1泊当たり旅行支出(全目的): 2024年10-12月期

国・地域	全体	韓国	台湾	香港	中国	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム
2023年10-12月期(円/人)	25,867	25,887	32,216	35,471	27,137	21,893	34,813	24,410	20,494	14,903	11,417
2024年10-12月期(円/人)	27,372	28,440	34,668	38,117	32,222	27,934	34,488	28,765	14,128	13,353	5,826
前年同期比(%)	+5.8	+9.9	+7.6	+7.5	+18.7	+27.6	-0.9	+17.8	-31.1	-10.4	-49.0
国・地域	インド	英国	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	ロシア	米国	カナダ	オーストラリア	その他
2023年10-12月期(円/人)	12,896	25,770	22,200	23,538	28,785	26,677	16,089	27,662	24,292	26,870	22,676
2024年10-12月期(円/人)	20,229	33,066	25,073	21,393	25,756	28,496	21,416	31,697	26,675	31,171	22,407
前年同期比(%)	+56.9	+28.3	+12.9	-9.1	-10.5	+6.8	+33.1	+14.6	+9.8	+16.0	-1.2

表3 一般客1人1泊当たり旅行支出(全目的): 2024年10-12月期

1人1泊当たり旅行支出	総額	費目別						平均泊数(泊)
		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	
2023年10-12月期(円/人)	25,867	9,123	5,521	2,933	976	7,297	17	8.5
2024年10-12月期(円/人)	27,372	9,610	5,702	2,938	1,272	7,847	3	8.7
前年同期比(%)	+5.8	+5.3	+3.3	+0.2	+30.3	+7.5	-79.5	+0.2

出所:観光庁『インバウンド消費動向調査』より作成。

表4 2024年12月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)
	12月	12月		1月~12月	1月~12月	
総数	2,734,115	3,489,800	27.6	25,066,350	36,869,900	47.1
総数(中国除く)	2,421,641	2,885,600	19.2	22,641,193	29,888,700	32.0
韓国	782,726	867,400	10.8	6,958,494	8,817,800	26.7
中国	312,474	604,200	93.4	2,425,157	6,981,200	187.9
台湾	399,500	491,200	23.0	4,202,434	6,044,400	43.8
香港	251,080	285,600	13.7	2,114,402	2,683,500	26.9
タイ	125,822	146,700	16.6	995,558	1,148,900	15.4
シンガポール	113,695	136,200	19.8	591,267	691,100	16.9
マレーシア	60,806	71,600	17.8	415,712	506,800	21.9
インドネシア	63,696	75,000	17.7	429,382	517,600	20.5
フィリピン	79,107	108,500	37.2	622,293	818,700	31.6
ベトナム	37,047	40,000	8.0	573,916	621,100	8.2
インド	13,515	17,000	25.8	166,394	233,000	40.0
豪州	89,471	112,500	25.7	613,062	920,200	50.1
米国	183,166	238,500	30.2	2,045,854	2,724,600	33.2
カナダ	36,441	48,300	32.5	425,874	579,400	36.0
メキシコ	9,081	12,000	32.1	94,684	151,800	60.3
英国	23,877	30,300	26.9	321,482	437,200	36.0
フランス	17,732	20,700	16.7	277,436	385,000	38.8
ドイツ	11,810	15,800	33.8	233,410	325,900	39.6
イタリア	10,560	15,100	43.0	152,305	229,700	50.8
スペイン	6,361	10,500	65.1	115,873	182,300	57.3
ロシア	3,255	5,900	81.3	41,965	99,300	136.6
北欧地域	7,252	10,600	46.2	112,970	150,700	33.4
中東地域	7,223	12,600	74.4	109,553	166,300	51.8
その他	88,418	113,600	28.5	1,026,873	1,453,400	41.5

表5 2024年10月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)
	10月	10月		10月	10月		10月	10月		10月		
総数	2,516,623	3,312,193	31.6	2,245,892	3,021,710	34.5	119,327	121,490	1.8	151,404	168,993	11.6
韓国	631,124	732,167	16.0	600,998	701,198	16.7	18,011	17,868	-0.8	12,115	13,101	8.1
中国	256,371	582,919	127.4	188,541	506,881	168.8	23,055	25,557	10.9	44,775	50,481	12.7
台湾	424,857	478,902	12.7	410,414	463,617	13.0	8,852	8,926	0.8	5,591	6,359	13.7
香港	179,316	198,827	10.9	175,511	194,958	11.1	2,198	2,224	1.2	1,607	1,645	2.4
タイ	124,558	132,188	6.1	119,502	126,914	6.2	2,794	2,988	6.9	2,262	2,286	1.1
シンガポール	55,116	68,790	24.8	52,322	65,910	26.0	2,452	2,457	0.2	342	423	23.7
マレーシア	45,162	55,091	22.0	42,568	52,583	23.5	1,791	1,699	-5.1	803	809	0.7
インドネシア	40,260	43,215	7.3	30,134	32,475	7.8	2,204	1,871	-15.1	7,922	8,869	12.0
フィリピン	69,225	80,244	15.9	58,889	67,858	15.2	5,167	7,392	43.1	5,169	4,994	-3.4
ベトナム	50,456	50,982	1.0	16,181	16,079	-0.6	3,880	3,831	-1.3	30,395	31,072	2.2
インド	16,810	21,706	29.1	9,416	14,445	53.4	4,724	4,723	0.0	2,670	2,538	-4.9
豪州	62,015	90,157	45.4	58,514	86,933	48.6	2,652	2,230	-15.9	849	994	17.1
米国	211,867	278,461	31.4	193,998	261,069	34.6	13,704	12,905	-5.8	4,165	4,487	7.7
カナダ	51,741	66,524	28.6	49,554	64,468	30.1	1,471	1,225	-16.7	716	831	16.1
メキシコ	12,483	19,199	53.8	11,890	18,567	56.2	399	369	-7.5	194	263	35.6
英国	37,431	51,637	38.0	32,914	47,139	43.2	3,301	3,120	-5.5	1,216	1,378	13.3
フランス	34,356	49,389	43.8	30,479	45,413	49.0	2,557	2,453	-4.1	1,320	1,523	15.4
ドイツ	30,893	43,351	40.3	26,647	39,181	47.0	3,410	3,183	-6.7	836	987	18.1
イタリア	16,315	25,063	53.6	14,100	22,800	61.7	1,571	1,592	1.3	644	671	4.2
ロシア	5,726	15,701	174.2	4,503	14,469	221.3	705	698	-1.0	518	534	3.1
スペイン	15,515	23,391	50.8	14,487	22,290	53.9	706	714	1.1	322	387	20.2
中東地域	10,234	20,859	103.8	8,955	19,373	116.3	812	977	20.3	467	509	9.0
その他	134,792	183,430	36.1	95,375	137,090	43.7	12,911	12,488	-3.3	26,506	33,852	27.7

注) 目的別訪日外客数の定義については、図3注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2025年1月15日付より筆者加工